

質 問 順 位	1 2	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 財政	1. 北電料金値上げの影響について	1. 申請の内容での市への影響額が報道されている。①総額②負担増の幅が大きい主な事業（指定管理含む）③一部事務組合の負担金等、第三セクターへの影響④連動して料金値上げに波及しかねないものは⑤北電に対する市としての意見表明は行ったか。		
2. 住民負担額の中空知での比較	1. 住民負担額の中空知での比較について	1. 市民が「滝川の税金は高い」と言うのを聞いたことがある議員・職員は多く、疑問を持つ市民も多いと思う。市税各種（市民税、国保税、固定資産税等）、上下水道料金、保育料金、介護保険料について、中空知5市5町や衛生施設組合や消防事務組合を構成する3市2町などで市町ごとの比較の特徴と、市民にわかりやすい説明を求める。		
3. 自衛隊への協力	1. 富士総合火力演習の観覧について	1. プレス空知紙は、8月24日に「富士総合火力演習 滝川市長 小野寺防衛大臣と観覧」と報じた。自衛隊協力会滝川隊区連合会長としての訪問か。また日程と目的、内容、経費について。また近年の滝川駐屯地以外の訓練の観覧実績について伺う。		
	2. 自衛隊への市内中高生徒名簿提供について	1. 自衛隊への名簿提供は、数十年も続いていると聞いている。いつから行われているか。また目的は。		

質 問 順 位	1 2	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
		2. 滝川地域事務所（募集事務所）によると、中学3年生に対しては、11月に全男子生徒宅に資料を配布しており、内容は自衛隊高等工科学校の紹介・募集とのこと。学年定員250名の生徒募集を名目に全国の数十万人の中3男子宅に配布するために個人情報を提供することは問題です。また、駅前の貸事務所で、中空知管内の数千人の情報が毎年管理されている実態について、セキュリティ水準は高いことが想定されます。以上から中3男子の情報提供は中止すべき。		
		3. 高校3年生に対しては、7月1日以後に全男子生徒宅に資料を配布しており、内容は自衛官と防衛大学などの募集案内とのこと。意義があれば例外なく個人情報を自治体が提供する時代ではないのではないか。どうしても続けたいのであれば、事前に全生徒と保護者に了解を求めるなどが必要ではないのか。		
4. 農業行政	1. 米の生産者価格の大幅下落の認識について	1. 収穫が始まったが、米価は大暴落している。ホクレンの農家への内金は1俵あたり9,000円と昨年より2,500円、22%も下がった。北海道はすでにコメ以外への転作が進んでおり、全国で最も13年産在庫が少ない。それでも全国同様の下がり方。年末の組合員勘定を閉めるため2,500円の融資をしているが、米の直接支払いなどが振り込まれても借金が残る農家も考えられる。また、市場での生産調整ができなければ来年はさらに下落することも危惧される。農家への影響、地元経済への影響をどのように考えているか。		
	2. 大規模化と設備投資後の下落が与える影響について	1. 耕作地の集約が進み、面積の大規模化と同時に機械・設備購入も進んだ。そこでこのような大幅な収入減になれば、借金を返せない農家も出てくるのではないかと。滝川の基幹産業を守るため、市による金利負担制度などを検討する必要があるのではないかと。		

質 問 順 位	1 2	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	3. 国に対する要望について	1. 現在どのような農政の要望をしているか。また、米価下落を放置することなく①さらなる備蓄米の買い上げ②米の直接支払を当面元の1万5,000円に戻すこと、5年後の廃止方針の撤回③主食の需給調整に国が責任を持ち、安定した生産基盤を守ることを強く求めるべき。		
	4. 穀物自給率向上の立場で、新たな制度創設について	1. 米の消費減少が続くのは残念だが、一方で他種穀物自給率を上げるチャンスでもある。しかし、設備投資も必要、後継者がいなくては新たな設備投資はできない。今こそ、後継者・新規就農者が増加する本格的な対策を市として始めるべき。		
	5. 菜種播種の結果について	1. 菜種の播種が終わりに近づいている。播種面積と日本一を取り戻せるか。また丘陵地帯の面積は。		
5. 公営住宅	1. 道営住宅（啓南、滝の川）の建替えについて	1. 道営住宅（啓南、滝の川）は、道営住宅整備活用方針で、「建築後一定期間を経過し、最低居住面積水準未満又はエレベーターが未設置の住棟は、建て替え又は用途廃止を行う」に該当し、時期未定だが建替えは決まっていることが、前定例会で確認された。そこで、同方針の「市町村がコンパクトなまちづくりの推進や（中略）必要に応じて、道営住宅を活用し、まちなかへ移転集約するなど、再配置による整備を行う」にもとづき、駅、買い物、市立病院、官公庁などニーズが高い中心市街地への分離建設について、入居者の意見を聞き早急に検討すべきではないか。		

質 問 順 位	1 2	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
6. 建設行政	1. 社会資本整備総合交付金の減額への対応について	1. 内示が4月以後に行われたが、建設行政ではかつて経験のない大幅減額だった。これを受け、執行額、設計などどのように対応したか。		
		2. 来年度以後もこのような決定率が続くと、どのような影響を受けるか。		
	2. これから10年、20年後を見通した公園行政について	1. 市は大小73か所の公園を維持管理している。9年前2004年度まで、毎年1億円以上、多い時で2億円を超える建設費だったのが、激減し現在に至っている。今年度の建設造成・改修費は、3,208万円で、全面改修1か所、遊具など一部改修は5か所です。今後10年から20年間の公園建設・改修方針について、公園数、主な全面改修公園、新設公園、一部改修、毎年の建設費等について伺う。		
7. 教育行政	1. 適正配置計画について	1. 滝川市小・中学校適正配置計画（2011年度～2020年度）は、2015年度が5年目となり、後期5年間の計画見直しが行われる。そこで、計画で「計画期間は存続します」とされた学校については、特別な変化が無い限り見直しはないと考えているか。		

質問順位	12	質問者	清水雅人 議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
		2. 一方、「当面は存続とします」「今後のあり方を検討します」とされた学校については、地域の子育て世代人口を増加させる政策や他校との合同クラブ活動のための支援など現在の課題の克服が優先されるべきと考える。そこで、①市の住み替え支援制度を、江部乙、東滝川地域に限り、助成金増額や要件緩和で住替えを促進する②江部乙、東滝川などへの新築について、周辺市町と同様の助成金制度を創設する③クラブ活動用のスクールバスを運行するなどが必要ではないか。		
	2. 整備計画について	1. 「滝川市小・中学校施設整備方針」は、2015年度で終了する。これにより、耐震改修はすべて終了する。次期計画の予定（期間、策定スケジュール）について伺う。		
		2. 現在の計画では、2016年度以後について「大規模改修については、建築年次や老朽化の進み具合などを勘案し、建築後20年から30年を目途に整備を進めます」としている。ところが、実態は第一小（築51～54年）、西小（32～34年）、江部乙小（39～40年）、東小（36年）、江部乙中（35～36年）など30年をすでに超えているので改築でなければ「方針」との整合性がとれないのではないかと。		
		3. また「改築については、建築年度から40年から50年を目途に整備を進めます」として、第二小（34～43年）、江陵中（33年）、明苑中（34～35年）が対象とされている。以上から、2年に1校のペースでは遅く、1年に1校のペースが求められる。開西中、第三小、西小の実績から、8校の改築・改修にかかる概算は。また、補助率は1/3程度、残りは20年償還の起債とすれば、十分に対応できると考えるが考えを伺います。		

質 問 順 位	1 2	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	3. 西高校の将来ビジョンについて	1. 第1回定例会で「西高の将来ビジョンについては、西高の将来的な展望を見据えて、そのあり方について慎重に検討を行い策定します」とされた。進捗状況について伺う。		
		2. 築年数、要望と対応、大規模改修、改築の見通しについて伺う。		
		3. 現在の建てかえが終了した道立高校との比較で、施設・設備的に劣っていること（広さ、設備等）について伺う。		